

●水泳部 県高総体 競泳女子総合5位 個人6種目・リレー2種目で東北大会出場決定

6月21日(金)～23日(日)の3日間、セントラルスポーツ宮城 G21 メインプールにて、「第73回宮城県高等学校総合体育大会水泳競技大会」が行われ、競泳女子において、個人6種目・リレー2種目で東北大会出場を果たしました。また、学校対抗成績では、競泳女子で第5位に入賞しました(※なお、この成績は公立高校では第1位の結果です)。2022年3月、最大震度6強を観測した福島県沖の地震により、宮城県総合運動公園のメインプールは天井の一部が落ちたほか、プールサイドにひびが入り、50mのメインプールと飛び込みプールが使用できなくなっていました。今年3月になってメインプールが2年ぶりの再開され、本大会も2年ぶりにメインプールで通常開催することができました。

東北大会は、7月19日(金)～21日(日)の3日間、「郡山しんきん開成山プール」(公認50m10レーン・福島県郡山市)にて開催されます。

「第73回宮城県高等学校総合体育大会水泳競技大会」結果

■学校対抗成績

競泳女子学校対抗 第5位 仙台南高等学校 (公立1位)

■個人種目

・女子 200m	個人メドレー	Y・Kさん	決勝	第3位	東北大会出場
・女子 400m	個人メドレー	Y・Kさん	タイム決勝	第3位	東北大会出場
・女子 400m	自由形	S・Cさん	タイム決勝	第5位	東北大会出場
・女子 800m	自由形	S・Cさん	タイム決勝	第5位	東北大会出場
・女子 100m	背泳ぎ	K・Mさん	決勝	第5位	東北大会出場
・女子 200m	背泳ぎ	K・Mさん	決勝	第6位	東北大会出場

■リレー種目

・女子 4×100mフリーリレー	(SC, KM, KY, YK)	決勝	第6位	東北大会出場
・女子 4×100mメドレーリレー	(KM, YK, SC, KY)	決勝	第6位	東北大会出場



●「プレゼン甲子園」に出場しました！

全国高等学校プレゼン甲子園実行委員会（事務局：福井県教育庁高校教育課内）の主催する標記大会に、本校3年生のA・YさんとN・Rさんが出場（作品提出）をしました。今年度の大会テーマは「Well-beingな社会をつくるために今私たちができること」です。AさんとNさんは、「Well-beingな社会」を実現するために、望ましい家族の在り方について考え、内容をスライドにまとめ、「ほっとする家族をつくっていきませんか？」と題して、およそ3分のプレゼンテーション動画を作成しました。今年度の出場数は755チーム、予選を勝ち抜いたチームは8月下旬に福井県で行われる決勝大会に出場します。



「全国高等学校プレゼン甲子園」とは？

テーマについて深く考察し、自分の考えや念（おもい）を「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、総合的なプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とする大会。6月上旬予選、7月上旬ブロック選抜、8月下旬全国大会が行われる。表彰は「最優秀賞兼文部科学大臣賞」1チーム、「優秀賞」3チーム、「奨励賞」5チームほか。主催：全国高等学校プレゼン甲子園実行委員会、共催：福井県教育委員会・一般社団法人プレゼンテーション協会、後援：文部科学省・全国高等学校校長協会・日本マイクロソフト他

●1学年「性教育講話」を実施しました



7月4日（木）、講師として武山陽一様（仙台医療センター産婦人科医長）をお迎えし、「性について聞いたことがありますか？」をテーマに、1年生を対象とした性教育講話を実施しました。講話では、男女の性差に対する理解の大切さ、性に関する事件の現状と対策、性感染症に関する知識など、具体的な事例を織り交ぜ様々な観点からお話をいただきました。参加した生徒からは、下記のような感想が寄せられました。

「性教育講話」生徒の感想

■性行為が引き起こす犯罪や妊娠のリスク、病気の問題について詳しく知ることが出来ました。今までの性に関する講座では学べなかったような深いところまで教えていただき、性

について考える上で参考になる部分が多かったです■今まで、あまり聞く機会がなかったなかけど、今回の講座を通して、様々な問題点や、注意点を、知ることが出来ました。デートDVは初めて知りました。また、ネット上でもそういう事があるんだなと思いました■もし自分が被害者などになったら「誰かに言わなければならない」とは思うけれど、「言ったら怒られるのではないか？」「真剣に話を聞いてくれるのか？」などと考えてしまい本当に言う勇気を出せるのか？と感じた■生物学的に男と女は違った存在であるため、お互いのことを100%理解するというのはとても困難である。しかし、相手への思いやりの心や、知ろうとする心を忘れないことが大切だと思った■私たちの世代を取り囲むDVハラスメントの実態に私たちがどのような心構えを持って対応していくかを知るきっかけになった■子供を育てていく中での支援や性犯罪に対する法律が強化されていることが分かりました。

